

地域で育てるキャリア教育第3弾です。

キャリア教育で子どもたちの未来づくり

学校と地域・家庭で育むキャリア教育(地域とのつながり③)



今回は、三重総合高校の「地場企業説明会」という、生徒自身の人生の生活設計に直結したキャリア教育の取り組みについてお知らせします。

6月17日に、市商工観光課・市商工会・ハローワーク豊後大野・豊肥経済同友会の協力の下、三重総合高校に地域の企業19社が集まって、三重総合高校生と保護者の希望者を対象に「地場企業説明会」を実施いたしました。

この企画は、高校生に対しては「地場企業の企業説明を聞くことを通して、身近な地域にある企業の存在や魅力に気づき、自分自身の可能性の枠をひろげ、より自分に合った将来設計をイメージしてもらいたい」と願って行われました。また、豊後大野市にとっては、「地場企業の説明を通して、多くの地場企業の存在を知り、地場企業に魅力を感じることで、豊後大野市内の企業に就職する生徒の増加をめざす」ために行われました。

各企業ともに意欲的で、持ち時間が説明で終わるブースがほとんどでした。説明の中身としては、①企業活動の内容説明②会社組織(資本・規模・部署等)③企業の将来像(理念・ビジョン)④報酬・待遇(休暇・福利・厚生)のほかに、⑤地場企業のメリットアピール(就職するなら地元＝親孝行、先輩の存在、地元人材の定着率の高さ、通勤の余剰時間の有効活用)や⑥自社の将来性の高さ(需要拡大の見通し)⑦社内教育(資格が取れる、人間性や社会性の育成)など、様々な内容でした。人として大切なこと(相手の立場に立った行動)、企業人として大切なこと(報連相)、高校生活で身につけてほしいこと(コミュニケーションの取り方)などについて、話してくれる企業もありました。とても中味の濃い有意義な時間でした。

【参加者の声】

- 《生徒》
- ・地元の企業を知ることができたとし、興味を持った企業があった。
 - ・実際に働いている人から話が聞けた。
 - ・三重総合の先輩が来ていて、実際の話が聞けた。
 - ・様々な企業の理念が聞けた。企業による理念の違いもわかった
 - ・知らない会社に出会えた。
 - ・希望外の企業の話も聞けて得になった。
- 《保護者》
- ・企業の方の熱意が伝わった。
 - ・コロナの中での採用の意欲に感謝。
 - ・コロナの中、開催してくれてありがたい。
 - ・もう少し時間がほしかった。
- 《企業》
- ・知名度が低いことがわかった。参加して良かった。
 - ・認知していただく良い機会になった。

